

## 第 36 回病診連携委員会要録

日 時	平成 24 年 9 月 24 日 (月) 午後 7 時 30 分
場 所	浪速区医師会 会議室
出席者	浪速区医師会 : 6名 南 医 師 会 : 1名 愛染橋病院 : 2名 大野記念病院 : 3名 多根総合病院 : 1名 富 永 病 院 : 2名 浪速生野病院 : 2名 大和中央病院 : 2名 東 医 師 会 : 2名 泉 尾 病 院 : 2名 歯 科 医 師 会 : 2名 ブルーカード事務局 : 1名 浪速区医師会事務局 : 1名

今回の委員会には、東医師、浪速区歯科医師会より参加があった。

### 議 題

#### 1. 第 35 回病診連携委員会報告について

前回委員会での議事内容の報告と確認を行った。

#### 2. ブルーカード事例検討等連携病院からの報告について (愛染橋病院)

登録症例は多いが、実際の発動は少なめである。しかし、外来受診患者がブルーカード登録患者であると判明する場合はよくある。ブルーカード症例であることが判明し、カードを利用した症例は、事務局へ報告しているとのことであった。患者の病状把握に利用できるなら日中でもブルーカードを使用することに問題はないことが確認された。久保田議長より、最近の風潮としてブルーカード登録患者が、救急車を利用せず、自分達の交通手段で登録病院を受診するケースが増えている、ブルーカードの利用法の理解が浸透してきた良い兆候であるとのコメントがあった。

#### 3. 病診連携委員会のアンケート結果について

##### (1) 連携病院への質問

##### 5 疾患 5 事業に対する各病院の対応について

##### 【愛染橋病院】

糖尿病は積極的に受け入れている。緩和病棟はないものの緩和ケア看護師がおり、緩和ケアに積極的に取り組んでいる。総合周産期母子医療センターの認可を受けていて周産期医療にも積極的である。小児医療については平日夕方の時間外診療などに取り組んでいる。小児科のブルーカードについても今後考えていきたいと考えている。

##### 【大野記念病院】

癌治療は積極的に行っており、外来化学療法やクリニカルパスの利用を行っている。二次救急指定病院の立場より救急患者の受け入れと災害

時の透析患者の受け入れには力を入れている。

【多根総合病院】

放射線治療も可能であり、緩和ケア病棟も備えている。5疾患のうち心筋梗塞、脳卒中、癌、糖尿病については対応可能であり、5事業のうちの2次救急指定病院と災害拠点病院の立場から救急と災害についての取り組みを行っている。

(2) 診療所への質問

病院からの在宅診療や看取りの依頼に対してどの程度の連携が可能か。

ほとんどの診療所が、現状でも連携は可能との回答であった。ただし、事前に本人と家族に十分な説明を行い、意向などを確認しておくことが大切との意見や、退院前共同診療や合同カンファレンスなどで病院と診療所の医師が接点を持つ必要があるとの意見があった。

4. 浪速区在宅医療ネットワークとブルーカードの連携について

久保田議長よりブルーカードの今後の展開の一つとして、在宅医療ネットワークと連携させていく方針であることが説明された。救急搬送時間が年々延長され、20分未満の症例は5年間で30.8%から16.4%へと半減している。しかし、ブルーカードシステムは、浪速区と周辺地区が一つのエリアとして2次医療圏を生み出し、搬送時間の8分短縮という良好な結果をだしている。そのブルーカード登録症例の分析からは、高齢者の肺炎・気管支炎や、意識障害の患者が多いことが分かり、早期に在宅医療へ転換することが可能と考えられる。今後は、在宅医療についても浪速区在宅医療ネットワークを中心とした2次医療圏でのネットワークを作っていきたいと説明された。

5. その他

東医師会より地域の病診連携の現状が説明された。大阪医療センターや大手前病院のような大型病院はあるが、中型病院が少ない。診療所の医師の大半は、中央区には住んでおらず、夜間に駆けつけることができる医師が少ないので在宅診療を行っている診療所は少ない。やはり、在宅患者を診てもらう後送病院を見つけるのが困難な現実が存在しているとのことであった。また、中央区の人口は増加しているものの、消防は1か所しか存在せず、繁華街での対応に手をとられている現状が説明され、大阪市すべての消防が理解しているブルーカードに参加する利点は大きいと考えているとのコメントをもらった。

病院の先生からは、これまで在宅医療にはまったく無縁であったが、最近癌治療拠点病院となり、在宅医療の必要性が痛感されているので近隣診療所との協力を積極的に考えていきたいとのコメントがあった。

現時点でのブルーカードの登録件数は、浪速区380件、他地区49件の合計429件、現在までの使用状況は、浪速区247件、他地区6件、稼働件数は18件で救急要請が8件、非救急利用が10件であると事務局より報告があった。特に問題報告はなかった。